

「道路メンテナンス総力戦のために求められている技術を考える」

【特別会(公開):岐阜大学サテライト開催】第8回 最新技術・情報調査研究委員会

東海構造研究グループ(SGST)

1. 概要

橋梁保全の課題を解消するための最新技術・情報調査研究の取り組みの紹介

2. 参加者の募集

今回は研究委員会以外の方もご参加いただけます。是非、ご参加ください。

*SGST 会員及び学生は無料

*一般 1,000 円/人。ただし、H29.4 月より SGST 個人会員 (2 千円/年) または法人会員 (3 万円/年) にご加入いただける方は、今回は無料にて参加可能です。

3. 日時 4月27日(木曜日) 13時25分～

4. 場所 岐阜大学・岐阜駅サテライトキャンパス 多目的講義室

http://www1.gifu-u.ac.jp/~gifu_sc/src/shisetu2.html

5. 特別会の内容および予定

最新技術・情報調査研究委員会は「橋梁を守っていくための技術」を研究して参りました。研究の中で様々な「技術的な課題」があることを認識しております。

本特別会は、橋梁を守っていくための技術について、現状での取り組みや、その課題と解決策、その効果の関連等について議論することで、道路メンテナンス総力戦のために、「産」「官」「学」の知恵を集結するために企画しました。「課題解消のための取り組み」として、岐阜大学における SIP の取り組み、道路を実際に管理されている道路管理者の取り組み、民間 (SGST の会員会社等) における取り組みをご紹介いただき、会場の皆様とこれから何が重要であるかを議論したいと考えております。

道路管理者の方においてはコスト縮減や適材適所の対策の選定への知恵、建設業界の方においては技術開発の目標の明確化や技術提案でのポイントアップ、につながる内容だと考えております。

① 13時25分～13時30分 委員長挨拶 岐阜大学准教授 木下幸治

② 13時30分～13時45分 岐阜大学におけるSIP実装プロジェクトの紹介

岐阜大学准教授 木下幸治

③ 13時45分～14時35分 道路管理者より話題提供「橋梁保全の課題と求められる技術」

テーマ1 保全業務(道路施設点検)における現状と課題(案)

国土交通省 岐阜国道事務所 (ご調整中)

テーマ2 岐阜県におけるMEを活用した小規模修繕への取組について

岐阜県 県土整備部 道路維持課長 奥田 雅之様

質疑応答

④ 14時35分～15時45分 休憩

⑤ 14時45分～14時55分 橋梁を守るために必要な技術について(委員会成果より)委員会幹事

⑥ 14時55分～15時25分 テーマ1「人口減少社会での状況把握技術」

○維持管理モニタリング(招待講演)

株式会社 T T E S 菅沼 久忠様

質疑応答

⑦ 15時25分～16時20分 テーマ2「劣化原因除去技術」

紹介技術1

15分

○橋梁の再塗装における1種ケレンの実現および付加効果(ピーニング)の提案

ヤマダイインフラテクノス 山田 翔平様

紹介技術 2

15分

○伸縮装置及び床版の一体化防水工法「ONEPIECE-GEL SYSTEM工法」、
橋梁調査点検支援アプリ PITTORE
福美建設株式会社 乾 正保様

紹介技術 3

15分

○取替性・耐久性・走行安全性に優れたダクト用鋳鉄製伸縮装置＋止水性向上オプション
日之出水道機器株式会社 塚本 純平様

ディスカッション

10分

⑧ 16時20分～17時15分 テーマ3「補修技術：適材適所の工法」

紹介技術 1

15分

○維持管理の手間を削減するステンレス排水管、排水柵の提案
株式会社トーカイスパイラル 丹下 裕之様

紹介技術 2

15分

○急速で確実な超速乾性コーティング材のスプレーガンでの吹付けによる剥落防止施工技術
矢作建設工業株式会社 林 政信様

紹介技術 3

15分

○複数微細ひび割れ型繊維補強セメント複合材料による構造物の補修
(株)デーロス・ジャパン 林 承燦 (インスンチャン) 様

ディスカッション

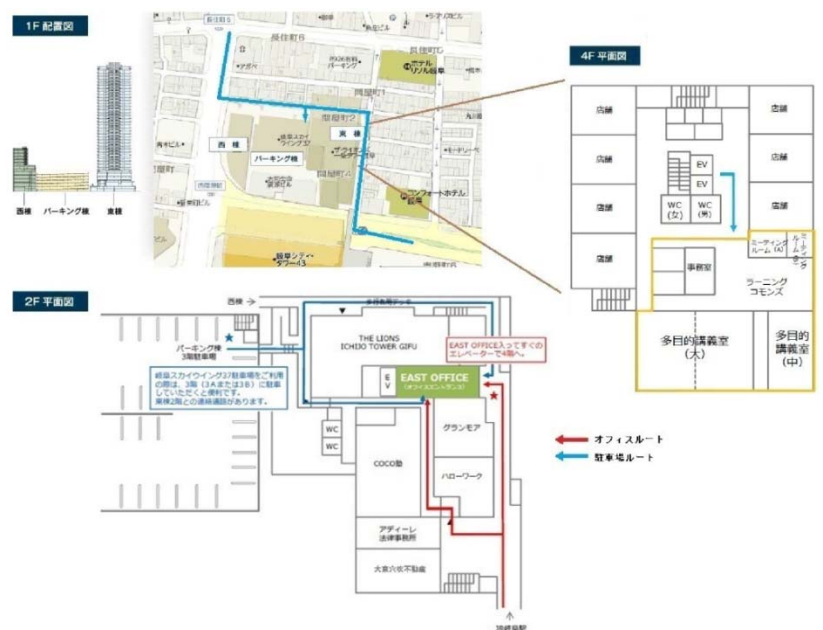
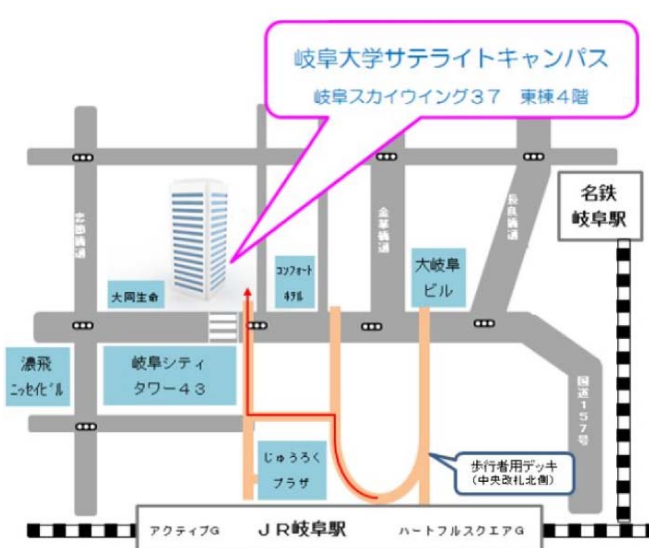
10分

⑨ 17時15分～17時30分 総括

研究委員会委員長 岐阜大学准教授 木下幸治

懇親会「〇〇〇 4～5千円」を予定しております。是非、ご参加ください。

【岐阜大学・岐阜駅サテライトキャンパスのご案内】



6. 申し込み先

【申込先】研究委員会幹事までメールでお願いします。

幹事：一般財団法人 橋梁調査会 中部支部 岡本 利朗

〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-16-15 フコク生命ビル5階

T E L 052-218-3151 E-mail okamoto-t@jbec.or.jp

